

# テーマ1

## 東京大学果樹園跡地の活用を考えよう

2017. 7.21 (金)

# テーマ1の検討内容

「テーマ1 東京大学果樹園跡地の活用を考えよう」では、策定方針に定める  
**シンボル事業1 東京大学果樹園跡地の交流拠点としての有効活用**  
の具体化に向け、次の検討を行います。

	検討内容
現状と課題	・敷地位置・形状等の地理的条件、開場からこれまでの歴史的経緯及び現状を知っていただくとともに、課題について話し合い、共有します。
多彩なゲストによる講演	・東大果樹園跡地の魅力とは・どんな場所にするか・私たちにできることは・多くの人に関心を持ってもらうための仕組みとは等が課題です。 ⇒新たな交流拠点づくりや、公共空間の利活用の観点から多くの実績を持つゲストの講演を聴講してもらい、参加者の知見を広め、発想を膨らませ、場のコンセプト・登場人物と役割・コミュニティ形成プランの検討を行います。
シミュレーション：現地	・これまでのアイデア、意見を取りまとめ、東大果樹園跡地での現地実証を展開します。 ⇒現地空間を体験しながら具体的イメージを共有し、意見交換を深め、実現に向けた夢と課題の整理を行います。

# テーマ1の検討内容

東京大学果樹園跡地の活用を考える上での基礎を講義で学びながら、ワークショップ形式で検討していきます。

## ● 講演

- ・第1回は、二宮町の新たな交流の場づくりを目指し「サードプレイス、エリアブランディング」をテーマに、カフェから街づくりまで多くの場をプロデュースされてきた二宮町在住でもある、入川秀人さんをゲストにお迎えしてお話をうかがいます(テーマ2と共通)。
- ・第2回は、南池袋公園の事業取組などの実例に基づき、公共空間の利活用について、最先端でお仕事をされている飯石藍さんをゲストにお迎えしてお話をうかがいます(テーマ2と共通)。
- ・第3回は、動産・タイニーハウスを利用した遊休資産の活用事例について、二宮団地リノベーションでも活躍されている さわだいっせいさんにお話をうかがいます。

※1: サードプレイスとは、自宅や職場とは隔離された、心地のよい第3の居場所を指します。

※2: エリアブランディングとは、行政・企業・地域の有志などの働きかけによってその地域の魅力を極大化しようとする活動を指します。

# テーマ1の検討内容

## ●ワークショップ

- ・毎回、5～6人程度の班に分かれていただき、班ごとに各回のテーマを検討し、最後に発表して検討結果を共有します。
- ・各班にスタッフを配置し、作業をお手伝いします。



## ●テーマ1 進行役

### 原 大祐 氏(はらだいすけ)

Co.Lab 代表取締役

NPO法人西湘をあそぶ会代表理事

2008年西湘をあそぶ会を設立。大磯在住。大磯で別荘生活のように暮らすのがテーマ。そのテーマを実現させる為に主に1次産業を中心に再生事業を行っている。

漁協直営の食堂「めしや大磯港」、神奈川県下最大の朝市の「大磯市」、コミュニティ農園「大磯農園」、ソーシャル雑居ビル「OISO1668」などのプロデュースを行っている。

# 第1回講師

テーマ1ではゲストとして、事業開発から業態開発、街づくりまで幅広い分野で活躍しておられる、入川秀人さんに基調講演をして頂きます。

入川さんの実績としては、東急沿線の都市開発やTSUTAYA TOKYO ROPPONGI、UT STORE HARAJYUKUの店舗プロデュースなどで高い評価を獲得されており、現在は、これまでの実績や蓄積したノウハウ、独自のマーケティング手法等を基に、関連企業の企画および開発業務のほか、街づくりや地域ブランディングに関する社会実験や、教育・出版事業等をメインに精力的に活動を行われています。

## 入川 秀人(いりかわ ひでと)氏

入川スタイル&ホールディングス株式会社  
代表取締役／チーフプロデューサー



## 第2回講師

飯石さんは、コンサルティング会社にて自治体向けの業務改善支援業務等に従事した後、企業CSRの企画支援、全国のNPOの経営支援等を手がける企業での勤務をご経験されています。

2014年より、公共施設・公共空間をもっと面白くするためのメディア「公共R不動産」の立ち上げに参画し、全国各地のまちで公民連携・リノベーションまちづくりのプロジェクトに伴走者として携わられています。

また、

○地元豊島区での暮らしを考える「としま会議」

○公設民営の公園”南池袋公園”の事業推進 など

街のプレーヤーを巻き込んだまちづくりを実践されています。

### 飯石 藍(いいいし あい)氏

公共R不動産

リージョンワークス合同会社 ディレクター



## 第3回講師

さわださんは、逗子市に在住し、ミニマルライフ・多拠点居住・スモールハウス・モバイルハウスを通じ、暮らし方の選択肢を増やし、新たな豊かさを定義し提案する「YADOKARI」を2012年に立ち上げました。

また、世界中の小さな家やミニマルライフを紹介する「未来住まい方会議」の運営や2015年3月、250万円のスモールハウス「INSPIRATION」を発表する活動を実践されています。

YADOKARIは、現在、二宮団地にて“さとやまライフ”をキーワードに再編プロジェクトを展開しています。

### さわだ いっせい氏

YADOKARI LLC 共同代表兼アートディレクター





# スケジュール

10月までに全5回、土日・祝日の開催を予定しています。

回	時期	テーマ
第1回	7月21日 <今回>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ワークショップの概要</li><li>○講演「サードプレイス、エリアブランディング」 ～自宅や仕事場から離れた心地のよい第3の居場所となる 交流拠点づくりと、二宮らしさ・二宮ならではの発見～ 講師：入川秀人氏 (入川スタイル&amp;ホールディングス代表取締役/ チーフプロデューサー)</li><li>○オリエンテーション、コンセプトの検討</li></ul>
第2回	9月2日	<ul style="list-style-type: none"><li>○講演「公共空間の利活用」 ～町民の誇りとなる公共空間とは？～ 講師：飯石藍氏(公共R不動産)</li><li>○公共空間とシビックプライドを学び、ステークホルダーを書き出す ・交流拠点の企画から管理運営までの登場人物達について考えてみる</li></ul>
第3回	9月下旬	<ul style="list-style-type: none"><li>○講演「動産・タイニ-ハウスを利用した遊休資産の活用事例」 ～事業性と管理運営を学ぶ～ 講師：さわだいっせい氏(YADOKARI LLC共同代表)</li><li>○事業性と管理運営を学びコミュニティ形成プランをつくる</li></ul>
第4回	10月上旬	<ul style="list-style-type: none"><li>○シミュレーション：現地(その1) ・第1～3回迄のアイデアと意見をもとに、現地空間を体験しながら 具体的イメージを共有し、実現に向けた夢と課題の整理を行う。</li></ul>
第5回	10月下旬	<ul style="list-style-type: none"><li>○シミュレーション：現地(その2) ・第4回の検証結果の改善。</li></ul>

◎8月に東京大学果樹園跡地の現地見学会を開催予定。